

登録番号 第 20959 号

## 三井東圧アルバリン®粒剤

- 作物登録が広く、コナジラミ、ハモグリバエなどの重要害虫防除に使用できます。  
 特長： ●浸透移行性が高く、育苗期や生育期の処理もできます。  
 ●水稲のカメムシ防除にも使えます。

アルバリンはアグロカネショウ(株)の登録商標です。

有効成分	ジノテフラン（化管法第1種）・・・1.0%	包装	1kg×12 3kg×6
性状	類白色細粒	有効年限	5年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 【適用害虫及び使用方法】

2021年12月22日付内容

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウカ類 ツマグロヨコバイ コメチユウ イネトヨイムシ カメムシ類 イネズグウムシ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
きゅうり	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	コナジラミ類	1~2g/株				
	アブラムシ類	1g/株				
きゅうり	ハモグリバエ類 アザミヤカ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株	生育期 但し、収穫開始 14日前まで			
うり類 (漬物用)	アザミヤカ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	
	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株				
にがうり	コナジラミ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
メロン	ハモグリバエ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	コジラミ類	1~2g/株				
	アブラムシ類	1g/株				
	ハモグリバエ類 アザミヤカ類	2g/株	定植時		植穴 土壌混和	
	コジラミ類	1~2g/株				
	アブラムシ類	1g/株				
すいか	ワタアブラムシ	2g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
			定植時		植穴 土壌混和	
			生育期 但し、収穫 21日前まで		株元散布	
かぼちゃ	アブラムシ類 コジラミ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)
ズッキーニ	アブラムシ類 コジラミ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫開始 14日前まで		株元散布	
トマト	コジラミ類	培土 1㎡当たり 10g	は種前	1回	培土混和	5回以内 (培土混和及び灌注は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ハモグリバエ類 コジラミ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴 土壌混和	
	コジラミ類 アブラムシ類		生育期 但し、 収穫前日まで	2回以内	株元散布	
ミニトマト	コジラミ類	培土 1㎡当たり 10g	は種前	1回	培土混和	5回以内 (培土混和及び灌注は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	ハモグリバエ類 コジラミ類	1~2g/株	育苗期		株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴 土壌混和	
	コジラミ類 アブラムシ類		生育期 但し、 収穫前日まで	2回以内	株元散布	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	
とうがらし類	アブラムシ類 コジラミ類	1g/株	育苗期	1回	株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)	
	アザミヤカ類	1~2g/株	定植時		植穴 土壌混和		
	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、収穫開始 14日前まで		株元散布		
とうがらし (葉)	アザミヤカ類 アブラムシ類	1g/株	定植時 但し、収穫 30日前まで	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
なす	ハダカリハエ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)	
	コジラミ類	1~2g/株					
	アブラムシ類	1g/株					
	ハダカリハエ類 アザミヤカ類 コジラミ類	1~2g/株	定植時	植穴 土壌混和			
	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、 収穫前日まで		2回以内		株元散布
	アブラムシ類 コジラミ類						
ピーマン	アブラムシ類 コジラミ類	1g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)	
	アザミヤカ類	1~2g/株	定植時		植穴 土壌混和		
	アブラムシ類	1g/株	生育期 但し、 収穫前日まで	2回以内	株元散布		
キャベツ	アブラムシ類	2g/株	育苗期	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内)	
	アオムシ コガ	2~3g/株	定植時				
	アブラムシ類	2g/株					
	ハマダラカメカ	3g/株					
はくさい	アオムシ コガ	2~3g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和及び灌注は合計1回以内、散布は2回以内)	
	アブラムシ類	2g/株					
	ハマダラカメカ	3g/株					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	アブラムシ類 コガネ	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和及び 灌注は合計1回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計2回以内)
だいこん	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	5回以内 (は種時の播溝土壌混和は 1回以内、 は種時の全面土壌混和は 1回以内、 粒剤の散布は1回以内、 水溶剤の散布、液剤の散布 及び無人航空機散布は 合計2回以内)
	キジノミハムシ	4~6kg/10a			全面 土壌混和	
	キジノミハムシ タネバエ	9~12kg/10a	6kg/10a		生育期 但し、収穫 30日前まで	
チンゲンサイ	キジノミハムシ	6kg/10a	定植時	1回	土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 散布は2回以内)
	アブラムシ類 キジノミハムシ		は種時		播溝 土壌混和	
非結球あぶら な科葉菜類(チ ンゲンサイを除 く)	アブラムシ類 キジノミハムシ	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 散布は2回以内)
かぶ	アブラムシ類 キジノミハムシ	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 散布は2回以内)
レタス	モグリハエ	培土 1㎡当たり 15g	は種前	1回	培土混和	4回以内 (は種前の培土混和は 1回以内、 育苗期の株元散布、 定植時の土壌混和及び 育苗トレイへの灌注は 合計1回以内、 散布は2回以内)
		1g/株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類 モグリハエ	2g/株	定植時		植穴 土壌混和	
非結球レタス	モグリハエ	培土 1㎡当たり 15g	は種前	1回	培土混和	4回以内 (は種前の培土混和は 1回以内、 育苗期の株元散布、 定植時の土壌混和及び 育苗トレイへの灌注は 合計1回以内、 散布は2回以内)
		1g/株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類 モグリハエ	2g/株	定植時		植穴 土壌混和	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ねぎ	アザミヤ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混和、 育苗トレイへの灌注及び 定植時の株元散布は 合計1回以内、 生育期の株元灌注は 1回以内、 散布、無人航空機散布及び 定植後の株元散布は 合計2回以内)
	定植時					
	アザミヤ類 クハバネコバエ類	6~9kg/10a	生育期 但し、収穫 3日前まで	2回以内	株元散布	
ハモグリバエ類						
わけぎ	アザミヤ類 ハモグリバエ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫 21日前まで	1回	株元散布	4回以内 (定植後の株元散布は 1回以内、 生育期の株元灌注は 1回以内、 散布は2回以内)
にんじん	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	4回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 生育期の株元灌注は 1回以内、 散布は2回以内)
ほうれんそう	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)
セリ	アブラムシ類	2g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)
いちご	ワカアブラムシ	0.5~1g/株	定植時	1回	植穴 土壌混和	1回
くわい	アブラムシ類	3kg/10a	収穫 30日前まで	3回以内	散布	3回以内
らっきょう	アザミヤ類	6kg/10a	生育期 但し、収穫 前日まで	3回以内	散布	3回以内
オクラ	アブラムシ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫開始 14日前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
しょうが	クハバネコバエ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫 14日前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
実えんどう	ハモグリバエ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫開始 14日前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
さやえんどう	ハモグリバエ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫開始 14日前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
さやいんげん	アブラムシ類	9kg/10a	生育期 但し、収穫開始 14日前まで	1回	株元散布	3回以内 (株元散布は1回以内、 散布は2回以内)
だいず	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内、 散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計2回以内)
えだまめ	フタスジヒメハムシ	6kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は 1回以内 散布、空中散布、 無人航空機散布は 合計2回以内)
しそ	マデイロコカケラムシ	2g/株 (但し、10a 当り 25kg まで)	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、 散布は2回以内)
食用ぎく	アブラムシ類	1g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)	定植時	1回	植穴 土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は 1回以内、 散布は2回以内)
	マハモグリバエ	2g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)				
しゅんぎく	ハモグリバエ類	9kg/10a	は種時	1回	播溝 土壌混和	3回以内 (は種時及び定植時の 土壌混和は合計1回以内、 散布は2回以内)
			定植時		植溝 土壌混和	
ふき	アブラムシ類	20kg/10a	定植後～生育期 (草丈20cm頃 まで)但し、 収穫45日前まで	1回	土壌表面 散布	3回以内 (土壌表面散布は1回以内、 散布は2回以内)
葉ごぼう	アブラムシ類	6kg/10a	は種時	1回	全面 土壌混和	2回以内 (は種時の全面土壌混和は 1回以内、 生育期の株元散布は 1回以内)
			生育期 但し、収穫 21日前まで		株元散布	
茶	クワシカケラムシ	12kg/10a	摘採7日前まで	2回以内	株元 土壌混和	2回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
さとうきび	カンショコバ ネガカムシ	6～9kg/10a	生育期 但し、収穫 45 日前まで	2 回以内	散布	5 回以内 (粒剤は 2 回以内、液剤、 水溶剤及び水和剤は 合計 3 回以内)
	メイトウ類	9kg/10a				
かんきつ(苗木)	シハモグリガ	20g/株	育苗期	5 回以内	株元散布	5 回以内
なし(苗木)	アブラムシ類	20g/株 (但し、10a 当り 110kg まで)	育苗期	1 回	株元散布	1 回
きく	マハモグリバエ	2g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)	定植時	1 回	植穴 土壌混和	5 回以内 (土壌混和は 1 回以内)
	コジラミ類 アブラムシ類	1g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)				
	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5 回以内	株元散布	
ガーベラ	マハモグリバエ	2g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)	定植時	1 回	植穴 土壌混和	5 回以内 (土壌混和は 1 回以内)
	コジラミ類 アブラムシ類	1g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)				
	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5 回以内	株元散布	
花き類・観葉植物 (きく、ガーベラを除く)	コジラミ類 アブラムシ類	1g/株 (但し、10a 当り 30kg まで)	定植時	1 回	植穴 土壌混和	5 回以内 (土壌混和は 1 回以内)
	アブラムシ類	20kg/10a	生育期	5 回以内	株元散布	
つつじ類	ツツジゲンハイ	6kg/10a	発生初期	5 回以内	株元散布	5 回以内
いぐさ	イグサシムシガ	3～6kg/10a	発生初期	2 回以内	散布	2 回以内

#### 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- (2) 本剤を水稲及びいぐさに使用する場合には、湛水状態（3cm 程度）で田面に均一に散布し、4～5 日間は湛水状態を保ち、散布後 7 日間は落水やかけ流しをしないこと。
- (3) 本剤をくわいに使用する場合には、田面に均一に散布し散布後 4～5 日間は湛水状態を保ち、散布後 7 日間は落水やかけ流しをしないこと。
- (4) つまみ菜・間引き菜には使用しないこと。
- (5) 本剤の株元散布を行う際は、処理直後に灌水すること。
- (6) かんきつ及びびなしに用いる場合は、今期に収穫見込のない苗木に対して株元散布し、処理後は軽く散水すること。なお、本剤を散布してから効果を発揮するまでにある程度の期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に散布すること。
- (7) ふきに使用する場合には、葉に付着した薬剤は払い落とすこと。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

- (9) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
- 1) ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - 2) 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (10) 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (11) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

**人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法**-----

街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用后（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

**水産動植物に有毒な農薬については、その旨**-----

- (1) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (2) 散布後は水管理に注意すること。

**引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨**-----

通常の使用方法ではその該当がない。

**貯蔵上の注意事項**-----

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。